



2022年1月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2021年12月15日

上場会社名 株式会社Mマート 上場取引所 東
 コード番号 4380 URL https://www.m-mart.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役 (氏名)村橋 純雄
 問合せ先責任者 (役職名)執行役員管理本部長 (氏名)河合 弘一 (TEL) (03) 6811-0124
 四半期報告書提出予定日 2021年12月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年1月期第3四半期の業績(2021年2月1日~2021年10月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年1月期第3四半期	666	17.8	189	56.0	190	56.4	130	62.3
2021年1月期第3四半期	565	11.6	121	16.7	121	16.4	80	10.8

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年1月期第3四半期	26.69	—
2021年1月期第3四半期	16.45	—

(注) 当社は、2020年8月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。「1株当たり四半期純利益」については、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年1月期第3四半期	1,554	1,056	68.0
2021年1月期	1,402	974	69.5

(参考) 自己資本 2022年1月期第3四半期 1,056百万円 2021年1月期 974百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年1月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2022年1月期	—	0.00	—		
2022年1月期(予想)				10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年1月期の業績予想(2021年2月1日~2022年1月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	908	16.9	224	26.3	225	26.5	154	29.6	31.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年1月期3Q	4,890,800株	2021年1月期	4,890,800株
② 期末自己株式数	2022年1月期3Q	310株	2021年1月期	265株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年1月期3Q	4,890,515株	2021年1月期3Q	4,890,596株

(注) 当社は、2020年8月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。
前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数（普通株式）を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて判断しているため、多分に不確定要素を含んでおります。実際の業績は、業況の変化により予想数値と異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
3. その他	6
継続企業の前提に関する重要事象等	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間(自2021年2月1日至2021年10月31日)における世界経済は、新型コロナウイルスのワクチン接種の進捗期待や、米国等の大規模な財政出動や金融緩和の継続もあり、米国や中国を中心に回復傾向が鮮明となりました。但し夏場以降は、感染力の強いデルタ株の世界的な感染再拡大や、供給制約等によるインフレ懸念、中国による不動産やIT業界への規制強化の動きもあり、世界経済の先行き不透明感が強まりました。

一方、ワクチン接種が遅れていた国内経済は、緊急事態宣言等の度重なる発令などで、個人消費の低迷が続きましたが、ワクチン接種が進み緊急事態宣言等が解除された秋以降は、明るさを取り戻しつつあります。但し、内閣府発表の2021年7～9月期の実質GDP速報値は、前期比年率3.0%減とマイナス成長に転じました。また、日銀発表の9月短観では、足元の景況感は改善するものの先行きは悪化するなど、改善の足踏み状況を示しています。

このような事業環境のもと、正常な流通促進を使命とするMマートは、コロナ禍による飲食店の休業等により、高品質にもかかわらず、予想外の在庫に悩む卸売業者の余剰在庫商品を短期間で代金決済し、事業存続のための「手元流動性」を確保することが出来る「即金・即売市場」を、昨年より継続して開設いたしました。また6月末には、音声や動画も入れ、企業情報やその場から直接購入や問合せができる、日本で初めての業者向け専用の広告サイト「提案展示会インターネットビッグサイト」も開設いたしました。

こうした中、当第3四半期末における出店数は、営業の効率化進展に加え、コロナ禍でリアル取引が困難となる中、インターネット取引へのニーズが高まったこともあり、出店型のマーケットプレイス市場であります「Mマート(食材を取扱う市場)」は1,062店(対前年同月比56店増)、「Bnet(食材以外を取扱う市場)」も488店(同72店増)と増加しました。また、第3四半期末における買い手会員数は、182千社(対前年同月比13千社増)と増加しました。新規の買い手会員数は、インターネット取引へのニーズの高まりもあり毎月1千社を超える増加が続いています。

なお、第3四半期の総流通高も、5,096百万円(対前年同期比1,141百万円増)と増加しました。食材関連では、コロナ禍でスーパー・弁当宅配業者向けが継続して増加したほか、飲食店やホテル・旅館向けの流通高も徐々に回復しています。食材以外では、昨年急増した環境衛生用品(マスク・手袋等)が一巡となる一方で、非接触検温器や各種検査キット、デリバリー容器等の増加が継続しているうえ、食器類の流通高も徐々に回復しています。

以上の結果、当第3四半期累計期間の営業収益は、出店型サイト「Mマート」や「Bnet」の伸びを主因に、666,700千円(前年同期比17.8%増)となりました。一方、利益面では、人件費や採用手数料等の営業費用の増加もありましたが、営業利益は189,901千円(前年同期比56.0%増)、経常利益190,572千円(前年同期比56.4%増)、四半期純利益は130,542千円(前年同期比62.3%増)となりました。

なお、セグメントの業績は、セグメント情報を記載していないため省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債、純資産の状況

(資産の部)

当第3四半期会計期間末の総資産は1,554,489千円となり、前事業年度末に比べて151,847千円の増加となりました。これは主に、現金及び預金が89,361千円、営業未収入金が61,069千円増加したことによるものです。

(負債の部)

負債につきましては497,911千円となり、前事業年度末に比べ70,266千円増加しました。これは主に、営業未払金が61,069千円、その他が18,084千円増加したことによるものです。

(純資産の部)

純資産につきましては1,056,578千円となり、前事業年度末に比べ81,581千円増加しました。これは主に、利益剰余金につきまして四半期純利益を130,542千円計上したものの、配当金を48,905千円支払ったことによるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年1月期の業績予想につきましては、2021年9月14日に公表いたしました業績予想の数値から変更はありません。

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて判断しているため、多分に不確定要素を含んでおります。実際の業績は、業況の変化により予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2021年1月31日)	当第3四半期会計期間 (2021年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,184,783	1,274,144
売掛金	22,071	26,796
営業未収入金	113,122	174,191
その他	10,882	9,489
貸倒引当金	△4,195	△4,289
流動資産合計	1,326,663	1,480,331
固定資産		
有形固定資産	9,464	8,507
無形固定資産	357	299
投資その他の資産		
敷金及び保証金	57,618	56,813
その他	8,538	8,538
投資その他の資産合計	66,156	65,351
固定資産合計	75,978	74,158
資産合計	1,402,642	1,554,489
負債の部		
流動負債		
営業未払金	113,122	174,191
ポイント引当金	5,861	5,865
未払法人税等	41,114	32,223
その他	267,546	285,630
流動負債合計	427,644	497,911
負債合計	427,644	497,911
純資産の部		
株主資本		
資本金	318,619	318,619
資本剰余金	260,782	260,782
利益剰余金	395,889	477,525
自己株式	△293	△348
株主資本合計	974,997	1,056,578
純資産合計	974,997	1,056,578
負債純資産合計	1,402,642	1,554,489

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自2020年2月1日 至2020年10月31日)	当第3四半期累計期間 (自2021年2月1日 至2021年10月31日)
営業収益	565,801	666,700
営業費用	444,028	476,798
営業利益	121,772	189,901
営業外収益		
受取利息	22	13
助成金収入	-	600
その他	87	57
営業外収益合計	109	670
営業外費用		
その他	17	0
営業外費用合計	17	0
経常利益	121,864	190,572
税引前四半期純利益	121,864	190,572
法人税、住民税及び事業税	41,434	60,030
法人税等合計	41,434	60,030
四半期純利益	80,430	130,542

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません